

子どもたちが変わった

「コウノトリ野生復帰の取組みが世界への扉を開く」

さまざまな生きものと一緒に田んぼに帰ってきた子どもたち。田んぼを中心とした豊岡の湿地は、コウノトリの餌場であると同時に、いつしか環境学習のフィールドに。この壮大なフィールドで行われている世界が注目する取組みは、子どもたちに「命」とは何かを問い掛けています。



若者たちは野生復帰の未来を議論(第5回コウノトリ未来・国際かいぎ、平成26年7月、市民会館)

子どもたちが、自然の中で思いっきり遊ぶ「子どもの野生復帰大作戦」や小学校、農家、NPOの皆さんらと一緒に「生きもの調査」を実施。「コウノトリKIDSクラブ」では、生きものに触れる学習や体験をしています。野生復帰の未来を議論する「コウノトリ未来・国際かいぎ」では、「コウノトリ未来宣言」をまとめました。

活動範囲は市外にも。自然と共生する町づくりを進める宮城県大崎市と新潟県佐渡市、栃木県小山市、豊岡市が東京大学で「世界一田めになる学校」を開催しました。

企業も生きもの調査の機会などを提供し、野生復帰の取組みを応援しています。

豊岡の田んぼには、国内外の多くの子どもたちが環境学習に訪れています。

さまざまな環境学習から、子どもたちは道徳観や正義感、豊かな発想や命を大切に思う心を育んでいます。



岡田有加さん

おかだゆか

早稲田大学 4回生

豊岡と世界の懸け橋に

「あ、コウノトリだ！」

その一声をきっかけに、児童が一斉にベランダへ出ていきます。当時のコウノトリは、授業も中断になるほどのヒーローで、私に新田プロジェクトEというかけがえない経験を与えてくれました。

あれから10年。豊岡の活動は、そこで育った私に、自分たちの力で道は切り開いていけるんだということを目に見える形で教えてくれました。

海外生活を経て、改めて「豊岡を守っていきたい」と強く実感。豊岡の未来に貢献できる力を養いたいです。そして、自分と同じような経験をし、同じような志を抱く子どもが世界中に増えてほしいです。豊岡の発展に携わり、その例を世界に発信していく一豊岡と世界との懸け橋になりたいです。

先輩の言葉

コウノトリの観察がきっかけで写真の道に

小学校でコウノトリを観察するクラブに入部。百合地での巣立ちを連日観察しました。

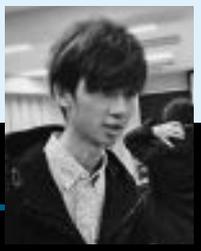
コウノトリが放鳥され、そこで繁殖し巣立つことが、これほど全国から注目されていることに感動しました。

コウノトリのように一度絶滅した生きものを、再び自然に戻すことが世界でも例がないということを知り、改めて自分の生まれ育った町が誇らしくなりました。

現在は、小学生のときにコウノトリを観察するために手に取ったカメラがきっかけで、写真を専門とする大学に通っています。

今私がやりたいと思って進んでいる道はコウノトリがいなければなかったことでした。

また豊岡へ帰ったときはコウノトリを撮りたいです。



細川大蔵さん

ほそかわたいぞう

東京工芸大学 1回生



植物観察

コウノトリKIDSクラブ

子どものための活動サークルで、生きもの調査や外来種駆除、植物観察などさまざまな学習や体験活動を行っています。

コウノトリ育む農法を広めるために

コウノトリ育む農法を広めるには、消費を増やせばいいと考えた子どもたち。地元のコンビニエンスストアのおにぎりをコウノトリ育むお米で作ってもらえないか、店長さんにお問い合わせしました。残念ながら実現しませんでした。くじけない子どもたち。次は、学校給食に使ってもらえないか、市長に直談判に来ました。学校給食では、平成21年度から週1回、平成27年度からは週3回をコウノトリ育むお米にしています。
※週3回で、茶碗84万杯、水田面積12.8ヘクタールに相当。



市長に直談判

湿地に帰ってきた子どもたち

田んぼの学校

生きものとの触れ合いを通して、身近な水田や水路、ため池、里山などを遊びや学びの場とする活動です。「小川で生きもの探し」「里山で落ち葉集め」などをします。



生きもの調査

世界一田めになる学校

各市の子どもたちは、フィールドワークやワークショップを通して、東京大学で田んぼと自分たちの未来を考えました。



水生生物調査

ENEOSわくわく生き物学校

JX日鉱日石エネルギー(株)の協賛のもと、未来を担う子どもたちに湿地や生物多様性の仕組み、生きものなどに対する正しい知識と環境保全活動の体験の場を提供しています。



田んぼの未来を考察

東日本大震災でのお米の引き渡し

学校でお米を作っている14小学校が集まり、メッセージカードとお米を東北(南三陸町)に送ることに。子どもたちは、運送会社と運賃を、袋詰め費用をJAと交渉。合計13万円の経費は、募金活動などで賄いました。



お米と心を東北に

豊岡は県内で1番子育てがしやすい町!?

豊岡市の「合計特殊出生率」は、県内29市12町の自治体の中でトップになりました(平成22年)。「赤ちゃんを運んでくる」ともいわれるコウノトリ。コウノトリが住みやすい町は、子育て世代も住みやすい!?
※合計特殊出生率…一人の女性が生涯、何人の子どもを生むのかを推計。5年に1度発表される。
(豊岡市:1.94、兵庫県:1.41、全国:1.39)

[写真:川に親しむつどい~川人大集合~]